

羅針盤

平成29年度第4号(通算282号)
平成29年7月14日(金)発行
岡山県総合教育センター
Tel (0866)56-9101 Fax (0866)56-9121


授業改善に向けた授業研究会の進め方

今号は、教育時報6月号の特集(「主体的・対話的で深い学び」-アクティブ・ラーニングの視点による授業改善-)で掲載された先進的な取組を行う学校の「授業研究会」の事例を紹介し、夏期休業中の研修内容や今後の授業研究会の進め方の参考にしてください。

「生徒の具体的な活動」と「期待される学びの姿」に着眼した研究協議

【指導計画】	【コアとなる活動】	【教師の支援】
前時 本時 次時 本時までの、次時への関連性を明確に。	生徒の具体的な活動 ① ② ③ アクティブ・ラーニングを意図した場面が一目でわかるように、ロゴマークをつける。 生徒の立場で具体的に。	
【授業展開】 導入 目標など 展開 まとめ 【研究主題との関連】	期待される生徒の学びの姿 【評価】	

学校独自で開発した「授業デザインシート(展開場面に「主体的・対話的で深い学び」に関する「生徒の具体的な活動」と「期待される学びの姿」を明記)」を用いて、授業研究を行っています。【浅口市立金光中学校】

授業デザインシートの活用により、授業者は、1単位時間の中に課題解決的な活動や互いの考えをアウトプットする場をどのように取り入れるかイメージしやすくなります。また、参観者にとっても、本時の位置付けや授業者のねらいを容易につかむことができ、協議の視点を焦点化することにもつながります。 

金光中が開発した授業デザインシート

「育成を目指す資質・能力」に基づいた視点で深める研究協議

学校全体で「育成を目指す資質・能力」を明確にした上で、教科を超えたチームを結成し授業づくりを行っています。授業を参観する際は、付せん紙に「生徒の姿・つぶやき・発言」と「教員の支援・手立て」を区別して記述し、可視化しながら分析しています。【県立倉敷天城中学校】



「育成を目指す資質・能力」に対して三つの視点(主体的な学び・対話的な学び・深い学び)からの手立てが有効であったかどうかを可視化しながら分析することが更なる授業改善につながります。また、目的に応じ、教科・学年を超えたチームで話し合うことで、共通する支援について理解を深めることができます。

ベン図を用いての可視化



授業力向上に向け、優れた実践を教員全体で共有する取組

「授業について互いに語り合う職員室」を目指して、年2回の授業参観月間を設けています。事前に「私の授業ここが見どころ」を冊子にして全教員に配付し、参観後は参観シートに感想等を書いて授業者に渡すようにしています。また、授業参観で気付いたことを、「指名の工夫」「発問の工夫」「板書の工夫」などの項目に分けて、リーフレット「授業の知恵袋」にまとめています。【県立岡山一宮高等学校】

授業参観月間のように、様々な機会を捉えて互いの授業を見合うことで、個々の教員の優れた実践を全体で共有することができます。また、今後の自分の授業に生かせるよう、参観を通して得られた「気付き」を好事例として紙面に残すことで、より授業改善の実行性が高まります。



お知らせ1

今号の内容は、**教育時報【6月号】**に詳しく掲載しています。また、研修には、**リーフレット**(県総合教育センターHPからダウンロード可能)を御活用ください。



リーフレット(全校種版と高等学校版)

お知らせ2

講座番号：D022102

「アクティブ・ラーニング」研修講座

日時：**11月1日(水) 9:30-16:15**

- ◆実践発表(平成29年度研究協力校4校)
 - ◆講演「主体的・対話的で深い学びとは～カリキュラム・マネジメントを取り入れて～」(仮題)
- 講師：早稲田大学教職大学院 教授 **田中 博之**先生

次回の発行は、8月1日(火)の予定です。

(担当・教科教育部)

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho/>